

2027年度

名古屋大学教育学部
附属中学校・高等学校
学 校 案 内

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 本校の特色と教育方針 | 8. 名古屋大学との連携 |
| 2. 職員構成 | 9. 情報教育 |
| 3. 学級編成 | 10. 日課表 |
| 4. 入学者選抜状況 | 11. 部・サークル活動 |
| 5. 入学時の納付金および後援会の加入について | 12. SSH プロジェクト |
| 6. 教育課程 | 13. 年間行事予定 |
| (1) 中学校 | 14. 主な学校行事 |
| (2) 高等学校 | 15. 高等学校卒業生の進路状況 |
| 7. 教育課程について | 16. 学校紹介（よくある質問 Q&A） |

1. 本校の特色と教育方針

(1) 特色

《国立大学法人の併設型中高一貫校》

本校は中学校が各学年2学級、高等学校が各学年3学級編成で、国立大学法人の普通科併設型中高一貫校です。

《小規模校の良さをいかし名古屋大学と共に学ぶ学校》

名古屋大学と同じキャンパス内にあるという恵まれた教育環境をカリキュラムにいかすとともに、大学との連携教育、中高の交流教育、少人数教育などにいかし、個性輝く教育の創造を目指しています。

《先進的な教育研究校》

2006年度からスーパーサイエンスハイスクール（SSH）基礎枠を2020年度まで15年間、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）科学人材育成重点枠を2018年度から2020年度まで3年間実践してきました。また、2015年度からはスーパーグローバルハイスクール（SGH）を2019年度まで5年間実践をしました。2021年度からは、これらの経験を生かし、学際的な素養を備え、新たな価値を生み出す力を育成することを目的として、ワールドワイドラーニング（WWL）コンソーシアム構築事業および WWL 地域アドバンストラainingネットワーク構築事業に文部科学省から指定を受け、2023年度まで行いました。2024年度以降はこれらの取組を生かし新たに SSH 文理融合基礎枠および科学人材育成重点枠に2028年度まで指定されています。2010年度からユネスコスクールにも登録されています。

(2) スクールポリシー

《アドミッションポリシー》

名古屋大学教育学部の教育研究計画に従って、「勇気ある知識人を中等教育段階から育成する」ことを目的とし、中高一貫教育により、心豊かにして主体性のある人間形成を企図しています。このような立場から、本校では情緒豊かにして、総合的に物事を把握し、創造的に活動し得る態度と能力を養うことに努めています。このような理念を理解し、探究心のある意欲的な生徒を求めています。

《カリキュラムポリシー》

各教科等で学びを充実させるとともに、本校独自のカリキュラムを通して探究力を育成します。加えて名古屋大学と同じキャンパス内にあるという恵まれた教育環境のもと、大学との連携教育、中高の交流教育、少人数教育等を実施することで将来を見据えた自己のキャリアを形成します。

《グラデュエーションポリシー》

卒業時には、ものごとの本質を理解したうえで、科学的に思考・吟味し活用をする力や、多様な価値観を持つ他者と協働できる力を備え、変化に即応しながら生涯にわたって探究し続けることができる生徒となることを目指しています。

(3) 受け入れる児童、生徒像

本校に受け入れる児童、生徒は、このような特色と教育方針を理解し、中学入学者は中高一貫して本校の教育を受けることを第一希望とする児童であること、高校入学者は本校を第一希望とし、かつ個性豊かで活力ある生徒であることが望まれます。

2. 職員構成 (2026年度 7 月)

学 校 長	1	} 内訳は右表のとおり
副 校 長	2	
教 諭	36	
非常勤講師	16	
理科・情報助手	1	
司 書	1	
事 務 等		
事務職員	4	
非常勤職員	4	
後援会関係	2 (事務・購買)	
スクールカウンセラー	1	
スクールソーシャルワーカー	1	

	教諭 (含副校長)	非常勤講師
国語	6	
社会	5	1
数学	6	5
理科	5	3
芸術	2	2
保健体育	4	1
技術・情報	1	1
家庭	1	
外国語	6	3
養護	2	
計	38	16

3. 学級編成

中 学 校 各学年 2 学級 (男女共学)

高等学校 全日制課程普通科 各学年 3 学級 (男女共学)

4. 入学者選抜状況

(1) 中学校

	男女別	応募者数	受検者数	最終合格者数
2026年度	男	167	162	40
	女	194	193	40
	計	361	355	80
2025年度	男	186	184	40
	女	237	231	40
	計	423	415	80

(2) 高等学校

	男女別	応募者数	受検者数	合格者数	入学者数
2026年度	男	外部 31 (5) [12] 内部 40	30 (4) [12] 40	10 (3) [1] 40	10 (2) [1] 40
	女	外部 50 (1) [30] 内部 40	42 (1) [30] 40	19 (1) [7] 40	19 (1) [7] 40
	計	161 (6) [42]	152 (5) [42]	109 (4) [8]	109 (3) [8]
2025年度	男	外部 49 (4) [19] 内部 39	45 (3) [19] 39	14 (1) [5] 39	14 (1) [5] 39
	女	外部 50 (1) [18] 内部 39	46 (1) [18] 39	17 (1) [4] 39	17 (1) [3] 39
	計	177 (5) [37]	169 (4) [37]	109 (2) [9]	109 (2) [8]

注：() 内の数字は、帰国生徒の選抜状況を外数で示す。

注：[] 内の数字は、特別推薦枠の選抜状況を外数で示す。

5. 入学時の納付金および後援会の加入について

(1) 入学時納入金

(単位：円)

	中学校	高等学校
入 学 料	な し	56,400
授 業 料	な し	115,200/ 年 ¹⁾
P T A 入 会 金	2,000	2,000
P T A 会 費	2,400/ 年	2,400/ 年

※入学時および在学中に納入金の改正が行なわれた場合には、改訂時から新たな納入金額が適用されます。

1) 高等学校授業料については、36カ月間は、就学支援金をもって充てることが出来ます。

(2) その他（各学年で異なります）

- ・学級費（教材費等）
- ・校外行事費（林間学校、研究旅行、遠足など）
- ・生徒会費

(3) 後援会について

生徒の教育活動支援のため、保護者の皆様の積極的な後援会加入をお願いします。

会費は年20,000円。

また、教育活動の充実・整備を目的とした奨学寄附金募金も行なっています。

6. 教育課程

(1) 2027年度入学 中学校教育課程表（予定）

学 年		第 1 学 年		第 2 学 年		第 3 学 年	
教 科		年 授 業 時 間	週 当 り 数	年 授 業 時 間	週 当 り 数	年 授 業 時 間	週 当 り 数
国 語		140	4	140	4	105	3
社 会		105	3	105	3	140	4
数 学		140	4	105	3	140	4
理 科		105	3	140	4	140	4
音 楽		52.5	1.5	52.5	1.5	35	1
美 術		52.5	1.5	52.5	1.5	35	1
保 健 体 育		105	3	105	3	105	3
技 術 ・ 家 庭		70	2	70	2	70	2
外 国 語 (英 語)		140	4	140	4	140	4
特別の教科 道徳		35	1	35	1	35	1
特 別 活 動		35	1	35	1	35	1
総合的な学習の時間	STEAM-1	70	2	35	1	35	1
	STEAM-2			35	1	35	1
合 計		1,050	30	1,050	30	1,050	30

・ STEAM-2 は 2 ・ 3 年の少人数による展開

(2) 2027年度入学 高等学校教育課程表 (予定)

教科	科目	標準 単位数	第 1 学 年	第 2 学 年	第 3 学 年		
					年 間	前 期	後 期
国 語	現代の国語	2	2				
	言語文化	2	2				
	論理国語	4			2	2	2
	文学国語	4		2			
	古典探究	4		2	2	2	2
	国語演習①	2			2●	2●	2●
	国語演習②	3			3 (2■1◆)	3 (2■1◆)	3 (2■1◆)
地 理 歴 史	地理総合	2	2				
	地理探究	3			3※	3※	3※
	歴史総合	2		2			
	日本史探究	3			3※	3※	3※
	世界史探究	3			3※	3※	3※
	日本史探究演習	1			1#	1#	1#
	世界史探究演習	1			1#	1#	1#
	地理探究演習	1			1#	1#	1#
公 民	公共	2		2			
	倫理	2			2※, 2▲	2※, 2▲	2※, 2▲
	政治・経済	2			2※, 2▲	2※, 2▲	2※, 2▲
	公共演習	2			2●, 2 (1※1#)	2●, 2 (1※1#)	2●, 2 (1※1#)
数 学	数学Ⅰ	3	2				
	数学Ⅱ	4	1	3			
	数学Ⅲ	3			3 (1○2◇)	4 (2○2◇)	2◇
	数学 A	2	2				
	数学 B	2		2□			
	数学 C	2		1※	1◆	1◆	1◆
	数学演習	1		1※			
	文系数学演習①	2			2◇	2◇	2◇
	文系数学演習②	2			2△, 1△	2△	2△
	数学Ⅲ演習	1			1○		2○
理 科	理系数学演習	2			2△, 1△	2△	2△
	物理基礎	2	2				
	物理	4		2○	2□	2□	2□
	化学基礎	2		2			
	化学	4		1△	3 (2●1▲)	4 (2●2▲)	2●
	生物基礎	2	2				
	生物	4		2○	2□	2□	2□
	化学基礎演習	2			2□, 2○	2□, 2○	2□, 2○
	生物基礎演習	2			2□, 2○	2□, 2○	2□, 2○
	理科演習①	3			3 (2■1▲), 2 (1■1▲)	2■	4 (2■2▲)
保 健 体 育	理科演習②	3			3 (2■1▲), 2 (1■1▲)	2■	4 (2■2▲)
	体育	7～8	3	2	2	2	2
芸 術	保健	2	1	1			
	音楽Ⅰ	2	2○				
	音楽Ⅱ	2		2□	2◇	2◇	2◇
	美術Ⅰ	2	2○				
	美術Ⅱ	2		2□	2◇	2◇	2◇
	書道Ⅰ	2	2○				
外 国 語	英語コミュニケーションⅠ	3	3				
	英語コミュニケーションⅡ	4		3			
	英語コミュニケーションⅢ	4			3	3	3
	論理・表現Ⅰ	2	2				
	論理・表現Ⅱ	2		2			
	論理・表現Ⅲ	2			2	2	2
	合同英語	2		2○	2◇	2◇	2◇
	英語演習Ⅰー①	1		1△			
	英語演習Ⅰー②	2		2□			
	英語演習Ⅱー①	2			2▲	2▲	2▲
	英語演習Ⅱー②	2			2○	2○	2○
	英語演習Ⅱー③	2			2△, 1△	2△	2△
家 庭 情 報	家庭基礎	2		2			
情 報	情報Ⅰ	2	2				
D E I サイエンス		2			2△	2△	2△
デ ー タ サイエンス		1	1				
高大接続	大学文系	1			1△	2△	
	大学数学	1			1■	2■	
	大学理科	1			1■	2■	
	基礎セミナー	*1～		*1～	*1～		
	G30 Program	*1～		*1～	*1～		
学びの杜 A L E		*1～	*1～	*1～	*1～		
STEAM ¹ (アカデミックライティング)		*1	*1	*1	*1		
総合的な 探究の時間	STEAM [*]	3～6	1	1	1	1	1
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	1	1
合 計 (*を除く)			必修31	必修31	必修13 選択8～19		

- ・選択科目は、同一学年の同じマークの複数科目から1科目を選択する。
- ・DEIサイエンス、データサイエンス、高大接続、学びの杜、ALEは、本校が独自に設けた教科である。
- ・基礎セミナー、G30 Program、学びの杜、ALEは、選択履修(*)により単位を認定する教科である。
- ・カリキュラム内容は変更することがある。
- ・高校3年生の必修科目は、各単位数の下に下線で示してある。
- ・高校3年生の選択科目の中から、必ず地理歴史・公民、数学、理科をそれぞれ1科目以上選択すること。ただし、数学、理科のかわりにDEIサイエンスを選択することができる。
- ・第1学年、第2学年、第3学年(年間、前期、後期)の表中の数字は、それぞれ実際に行っている週あたりの授業時数である。

7. 教育課程について

(1) 中高共通の特色

名古屋大学の研究者と共に様々な授業が展開されます。総合的な学習（探究）の時間は、カリキュラムの柱として本校の特色をつくっています。

①総合的な学習（探究）の時間

6年間または3年間の学習を通して、自主的に学ぶ力をしっかりと身につけ、新たな価値を生み出す探究を目指しています。SSH 第Ⅳ期指定後はさらに文理を融合して探究する要素が加わりました。教室から飛び出して、名古屋大学やさまざまな施設の専門家から直接学ぶフィールドワークを取り入れています。

中学では学年ごと、高校では3年間で1つの課題を見つけて探究します。

中学1年	STEAM-1 / 生き方を探る
2年	STEAM-1 / 生命と環境
3年	STEAM-1 / 国際理解と平和
高校1年	STEAM ⁺ (アカデミックライティング)
2年～3年	STEAM ⁺

(2) 中学校の特色ある教科

少人数教育、T T（ティームティーチング）などを取り入れ、きめ細やかな指導をしています。

①STEAM-2（中学2・3年）

開設教科の中から、1年間で異なる2講座を選択します。2年間で4講座がとれます。1講座10～20名の少人数で行います。

普段の教科の授業では十分に実施できない実験や活動を重点的に行い、自分の興味関心のある分野を選んで楽しく学習することができます。

(3) 高等学校の特色ある教科

普通科として大学進学に対応する選択教科と、大学での学びの基礎を築くための多角的な思考力と探究心を育む新しい教科も実施しています。

高校では、2年生から3年生にかけてSTEAM⁺の時間があります。中学とは違って、研究テーマに基づき仮説検証型の探究学習をします。

①1年

〈STEAM⁺(アカデミックライティング)〉「探究とは」、「研究とは」についての基礎概念や、哲学対話、論理的に自分の考えを表現するための授業です。総合的な探究の時間で行います。

〈データサイエンス〉STEAM⁺では自分で収集したデータを分析して発表します。そのための基本となるデータの取り扱いについて学びます。

②2年～3年

〈STEAM⁺〉総合的な探究の時間内で行います。自分の興味関心のあるテーマを各人で設定し、データを集め分析して発表します。中学までの調べ学習中心の学びをもとに、エビデンスにもとづいた探究を推進し、将来のキャリアにつながる学習を行います。

[STEAM⁺]

* STEAM⁺ は、Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics の頭文字です。

8. 名古屋大学との連携

名古屋大学と同一キャンパスに立地する好条件をいかし積極的に大学との連携教育を取り入れることで、豊かな学び、質の高い学びを目指しています。

(1) 高大接続科目

①「学びの杜」講座

名古屋大学の研究者による講義を通して、大学での先進的・専門的な学びに触れ、知的好奇心が刺激されます。自分の適性や興味がより明確になり、自分の生き方を探る糸口となります。土曜日や夏休みを中心に講座が開講されます。規定数受講を修了した者には単位が認められます。

② 基礎セミナー

「基礎セミナー」は、名古屋大学1年生が大学での研究を開始するための入門的な授業です。参加を希望する附属高校の生徒が、大学生とともに学んでいます。

(2) 高大接続探究ゼミ

名古屋大学と岐阜大学が附属高校生のために、「大学の学び」を体験させてくれる企画です。大学教育の第一線で活躍する先生方と触れあいながら、それぞれの「ゼミ」を楽しみながら学びます。また、話し合いをしたり作品を作ったり、実験をしたりと普段の学校の中だけでは体験できないような学問への取り組みや、将来の学問選択につながるような「ゼミ」を8月上旬に実施しています。

(3) 1日総合大学

具体的な学問観や職業観を育てる目的で高校生対象に「大学とは何か、そこで何を学ぶのか」を知ってもらう特別授業です。名古屋大学のすべての学部から教員を招いて生徒と共にじっくり懇談し、将来の夢の実現の可能性を検証します。

(4) 教育相談活動

名古屋大学大学院教育発達科学研究科の大学院生による教育相談室（よつば相談室）を昼休みと授業後に開室しています。学校生活の中で、勉強や自分の進路、友達関係などについて、とまどったり悩んだりしているときに、気軽にメンタルフレンドとして話を聞いてくれます。もちろん、ここでの相談内容は口外されません。また、カウンセリング室にはスクールカウンセラー（非常勤）と、スクールソーシャルワーカー（非常勤）が訪れ、生徒、保護者、教師の相談を受けています。

(5) 国際化の推進

本校はスーパーサイエンスハイスクール（SSH）、ユネスコスクール、SDGs活動でグローバル人材の育成に力を入れています。国際化を推進する上では教育学部を始めとして、名古屋大学各研究機関との連携が不可欠になっています。名古屋大学が持つ海外拠点の協力を得て、米国ニューヨークやノースカロライナ、モンゴル国へ生徒（高校生）を対象として、派遣事業と受け入れ事業を行っています。モンゴル国の新モンゴル高等学校とは2013年度に、米国ノースカロライナ州イーストチャペルヒル高等学校とは2016年度に、米国ニューヨーク州バード高等学校とは2017年度にそれぞれ姉妹校協定を締結しました。また、名古屋大学アカデミックプログラム NUPACE の留学生や、ノースカロライナ州立大学のインターン学生が、本校教員とともに英語で中学生や高校生に授業をしています。

9. 情報教育

(1) 本校は名古屋大学の学内ネットワークであるN I C Eに光ケーブルで接続されていますので、高速かつ大容量のネットワーク通信を利用できる恵まれた環境にあります。

デスクトップコンピュータは生徒用42台、教師用1台がコンピュータ教室に設置され、教室内LANおよび名古屋大学ネットワークに接続されています。ノート型コンピュータも生徒用に整備されており、各教室や総合教室などでネットワークを利用することができます。また、複数台のコンピュータが個人利用のために図書室に設置されています。

(2) 本校では各教科や総合的な学習（探究）の時間、その他の学習活動の中で様々な情報教育が行なわれています。具体的には①情報の検索・収集（図書資料の利用、ネットワークの利用、リサーチの方法、フィールドワークの方法など）②情報の整理、分析、まとめ（著作権と適切な引用、情報倫理、情報処理ソフトの利用、研究集録の作成など）③情報の発信（様々なメディアの活用、Eメール、ウェブページ作成、研究成果の発表など）です。

10. 日課表

	予鈴	ST	1 限	2 限	3 限	4 限	昼食	予鈴	5 限	6 限	7 限(高)	ST
火 金	8 : 25	8 : 30 8 : 40	8 : 40 9 : 30	9 : 40 10 : 30	10 : 40 11 : 30	11 : 40 12 : 30	12 : 30 13 : 10	13 : 05	13 : 10 14 : 00	14 : 10 15 : 00	15 : 10 16 : 00	15 : 00 15 : 10
月 (朝礼)	8 : 25	(朝礼) 8 : 30 8 : 45	8 : 50 9 : 40	9 : 50 10 : 40	10 : 50 11 : 40	11 : 50 12 : 40	12 : 40 13 : 20	13 : 15	13 : 20 14 : 10	14 : 20 15 : 10		15 : 10 15 : 20
下校時刻 17 : 20 (2 ~ 10月は18 : 00まで延長可)												

※高校生は水曜日 7 限、金曜日は 1 部の生徒は 7 限 ※ ST の時間が変更になることがあります。

11. 部・サークル活動 (予定)

バドミントン部 (中高・女)	テニス部 (中高・男)	ダンスサークル (中高・男女)
バスケットボール部 (高・男女)	美術部 (中高・男女)	クイズ研究サークル (中高・男女)
弓道部 (中高・男女)	ブラスバンド部 (中高・男女)	
卓球部 (中高・男)	合唱部 (中高・男女)	
ハンドボール部 (中高・男)	Healthy Life サークル (中高・男女)	

12. SSH プロジェクト (予定)

数学プロジェクト (中高・男女)	粘菌プロジェクト (中高・男女)	相対論・宇宙論プロジェクト (中高・男女)
ヒドラプロジェクト (中高・男女)	色素プロジェクト (中高・男女)	グローバルプロジェクト (中高・男女)
データプロジェクト (中高・男女)	木曽馬プロジェクト (中高・男女)	

13. 年間行事予定（変更になることもあります）

前 期		後 期	
4月	入学式 始業式 新入生歓迎会 中1・高1オリエンテーション 中2～高3学力診断テスト 立会演説会（中高別） 学年・学級保護者会 授業参観 生徒総会（中高別）	10月	後期開始 第Ⅱ期教育実習 前期通知票渡し 立会演説会（中高別） 生徒総会（中高別）
5月	中2林間学校 高1林間学校 定期健康診断 PTA総会、学年・学級保護者会 遠足 第Ⅰ期教育実習	11月	中3研究旅行 高2研究旅行 高3実力テスト 後期中間テスト
6月	前期中間テスト 球技大会	12月	三者協議会 保護者面談 休業前全校集会 冬季休業
7月	保護者面談 休業前全校集会 三者協議会 夏季休業	1月	全校集会 中学校入学者選抜検査 高等学校入学者選抜試験 高等学校特別推薦枠選抜試験 高3学年末テスト
8月	高大接続探究ゼミ 全校集会 中1～高2整理テスト 高3実力テスト	2月	中1～高2学年末テスト
9月	学校祭（光粒祭）	3月	附属学校卒業式 中学合唱祭・中3を送る会 中学3年修了式 春季休業
10月	前期期末テスト 前期終了		

14. 主な学校行事

（1）中学校

①フィールドワーク（1年～3年）

STEAM-1の研究課題を名古屋大学、地域から学びます。

②林間学校（2年）

2泊3日を自然に親しみながら生活します。

③研究旅行（3年）

2泊3日の日程で、国際理解と平和について学びます。

④演劇コンクール

学校祭でクラス演劇に取り組みます。（生徒会主催）

⑤合唱祭

全クラスで合唱を完成させます。（生徒会主催）

（2）高等学校

①フィールドワーク（1年～3年）

STEAM⁺の研究課題を自らの進路と関連させながら校外へ出て学びます。

②林間学校（1年）

2泊3日を自然に親しみながらクラス、学年づくりを目的に生活します。

③研究旅行（2年）

3泊4日の日程で、国際理解と平和、民族、文化などについて学びます。

（3）中高共通

①学校祭（光粒祭）

9月上旬に2日間の日程で行われます。

中高の生徒会執行部、文化委員会ははじめ各委員会が主体的に取り組みます。

②遠足（中１、中３、高２、高３）

仲間づくり、クラスづくりを目的に５月に行います。

③球技大会

クラスマッチを行います。

（４）その他

①部・サークル活動の合宿

夏休み中を中心に合宿練習を行う部活動もあります。

15. 高等学校卒業生の進路状況

進路		卒業年度区分		2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
				当年度卒	過年度卒	当年度卒	過年度卒	当年度卒	過年度卒	当年度卒	過年度卒	当年度卒	過年度卒
大 学	国 公 立			56	10	46	14	57	9	56	11	56	10
	私 立			38	9	44	6	35	9	38	2	34	4
短 大	国 公 立			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	私 立			0	0	0	0	1	0	1	0	1	0
準 大 学				0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
各 種 ・ 専 修 学 校 （予備校を除く）				3	1	3	0	3	0	0	0	1	1
留 学 ・ 就 職 ・ 家 事 従 事				2	0	2	0	1	0	0	1	0	0
そ の 他				18	1	20	2	19	5	16	5	25	1
合 計				117	21	115	22	116	23	111	20	118	16

（最近３カ年の主な進路先）

北海道大学、室蘭工業大学、山形大学、東北大学、筑波大学、埼玉大学、千葉大学、お茶の水女子大学、東京大学、東京海洋大学、東京外国語大学、東京学芸大学、一橋大学、富山大学、金沢大学、福井大学、信州大学、岐阜大学、静岡大学、愛知教育大学、名古屋大学、名古屋工業大学、三重大学、滋賀大学、滋賀医科大学、京都大学、大阪大学、神戸大学、広島大学、九州大学、九州歯科大学、東京都立大学、横浜市立大学、岐阜薬科大学、愛知県立大学、名古屋市立大学、大阪公立大学、兵庫県立大学、神戸市外国語大学、慶應義塾大学、国際基督教大学、上智大学、中央大学、東京理科大学、明治大学、早稲田大学、愛知大学、愛知医科大学、愛知学院大学、愛知工業大学、中京大学、中部大学、豊田工業大学、名古屋学院大学、南山大学、名城大学、京都産業大学、同志社大学、立命館大学、関西大学、近畿大学、関西学院大学

16. 学校紹介（よくある質問 Q&A）

◎学校の特色に関して

Q 併設型中高一貫教育校にはどのような特徴がありますか？

A 本校は、国立大学法人の普通科の併設型中高一貫教育校です。併設型とは、中学から入学した生徒は引き続き高校に進むことができ、高校からも学力試験で入学できる学校のことです。中学からの生徒にとっては、高校で新たな友人と出会い、学びを広げることが出来ます。高校からの入学者にとっては、特色のある中高一貫カリキュラムの様々な学びを、高校入学時からすぐに得ることが出来ます。本校は、中学が各学年２クラス、高校が３クラスの小規模な学校で、充実した個別指導や中高の交流教育を実践しています。また、名古屋大学のキャンパス内にあるという、恵まれた教育環境をカリキュラムにいかして、名古屋大学との連携教育を行っています。心豊かにして主体性のある人間形成を目標にした教育を行っています。

◎入学者選抜に関して

Q 中学の検査は、どのようなものですか？

A 公立の中高一貫校は、いわゆる「学力試験」は、実施できないことになっています。そのため、中学の検査Ⅰは小学校で学習した内容の総合力、検査Ⅱは作文等で思考力・表現力を問います。検査Ⅲは面接で個性を見ます。適性検査では、なぜそうなるのかという疑問を出発点に、答えだけではなく、その答えにいたる過程を重視しています。総合的に考え応用できる力や自分の考えをまとめて話すこと、書くことを大切にしています。これらは、本校の「総合的な学習（探究）の時間」の学習をはじめとして、学校生活を送るために必要な力であると考えているからです。

Q 中学の「検査Ⅱ」の作文は、どんな内容ですか？

A 課題は、身近なことから環境問題や社会問題などにつながる内容です。

Q 高校の選抜試験は、どのような試験ですか？

A 高校は、国語・英語・数学の三教科の学力試験に作文と面接があります。作文は今日的な課題に関連した内容で、自分の意見を述べるものです。面接は、少人数のグループで行います。

◎学校生活に関して

Q どのような部活動がありますか？

A 学校案内、またはリーフレットに記載してあります。自由参加です。本校は小規模の学校で、活動場所も限られていますので、現在ある部活動以外に新しく部を作ることは難しいです。部によっては中高合同で活動しています。

Q 学校の雰囲気はどのようなのですか？

A 生徒同士の仲がよく、生徒と先生も気軽に話せる雰囲気があります。また自分の考えをしっかり持っている生徒が多いです。学校祭などの学校行事には、クラス全員が一丸となって取り組みます。

Q 落ち込んだり悩んだりしたときに、相談できる場所がありますか？

A 学校には「よつば相談室」（名古屋大学教育発達科学研究科の大学院生が昼休みと授業後に開室）があり、メンタルフレンドとして、生徒からのさまざまな悩みを聞いています。また、スクールカウンセラー（非常勤）、スクールソーシャルワーカー（非常勤）が来校し、生徒だけでなく保護者の方からもさまざまな相談を受けています。

Q 名古屋大学の図書館は利用できますか？

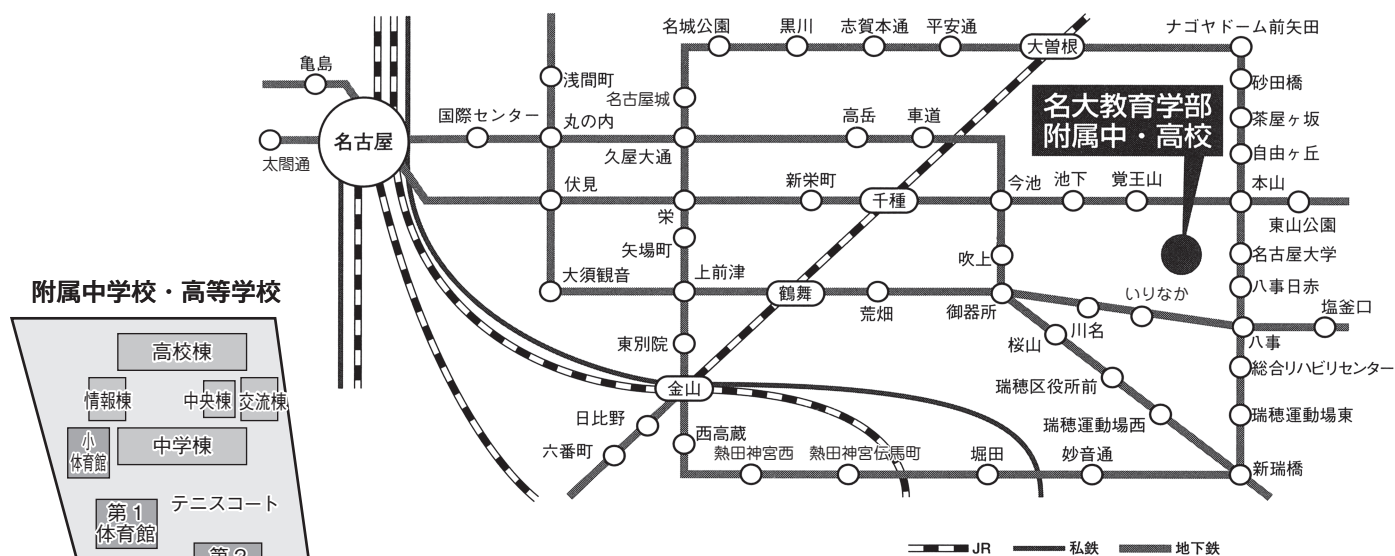
A 本を借りる場合は本校の図書館を通して借りられます。

Q 給食やランチルームはありますか？

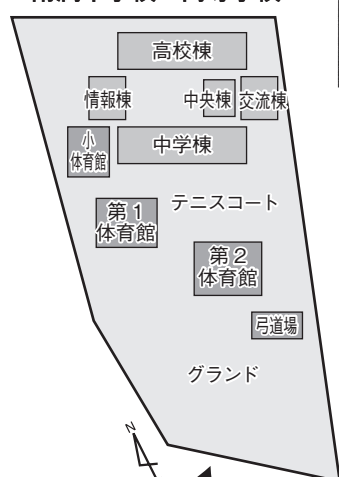
A ありません。お弁当を持参してください。また、名大生協によるお弁当販売も行っています。

本校案内図

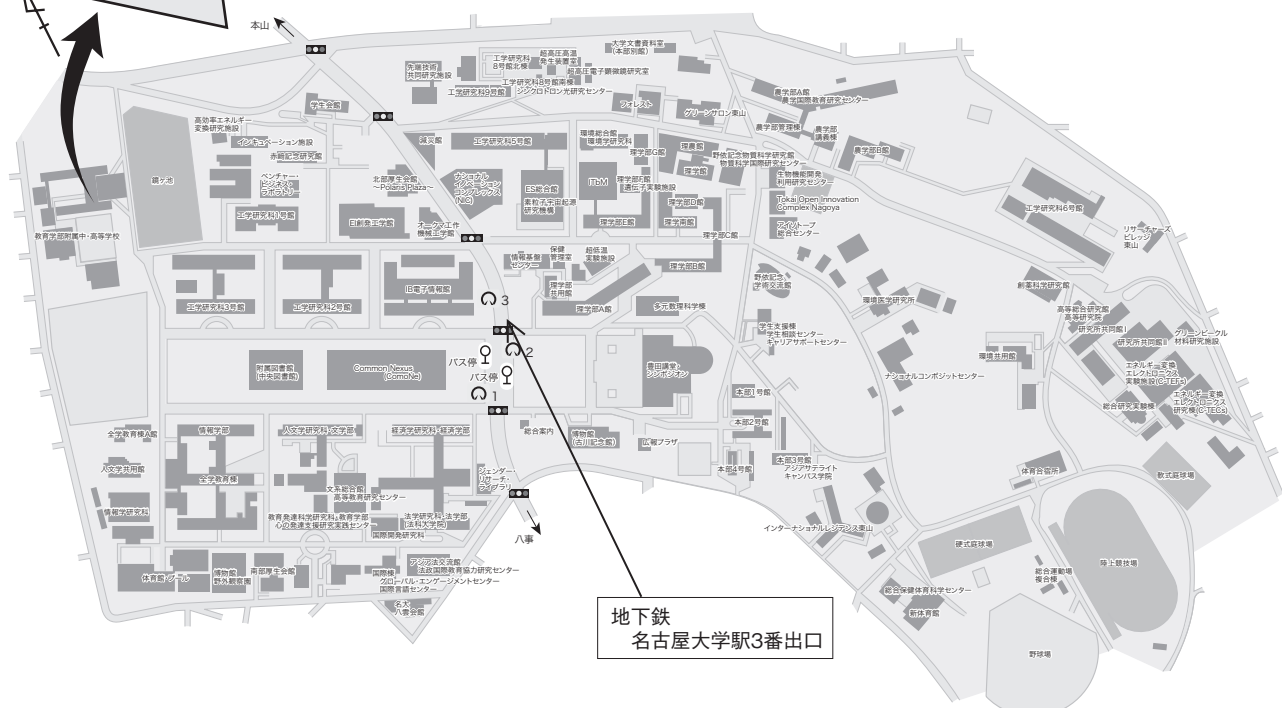
交通図



附属中学校・高等学校



本校付近図



◎ 地下鉄

東山線本山下車、南へ約1 km
名城線名古屋大学駅下車、3番出口より西へ約400m

◎ 市バス

栄17 栄→名古屋大学〔名古屋大学下車、西へ約500m〕
栄16 栄→名古屋大学〔四ツ谷通三丁目下車、西へ約100m〕
名駅17 名古屋駅→名古屋大学〔四ツ谷通三丁目下車、西へ約100m〕

ホームページ <https://highschl.educa.nagoya-u.ac.jp>